

2023年11月8日

各位

三井住友信託銀行株式会社

VLP Therapeutics, Inc.およびVLP Therapeutics Japan株式会社への出資について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、がんの治療ワクチンやマラリア、デング熱など感染症の予防ワクチンを研究開発する米国のバイオテクノロジー企業 VLP Therapeutics, Inc. (本社:米国メリーランド州、CEO:赤畑 渉、以下「VLPT」)、ならびに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)、インフルエンザおよびデング熱等のワクチンを研究開発する VLP Therapeutics Japan 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:赤畑 渉、以下「VLPT ジャパン」)に、インパクトエクイティ投資として出資しましたのでお知らせします。

VLPT は、世界の「満たされていないメディカル・ニーズ」に応え、従来のワクチン療法を一変する革新的な治療法の開発を目的に 2013 年に設立され、創業者の赤畑氏が開発した独自の VLP(Virus Like Particles: ウイルス様粒子)(※1)などを基盤技術に、がんに対する治療ワクチンとマラリア、デング熱など感染症に対する予防ワクチンの研究開発を進めています。今回の増資による資金は、これらのワクチン研究開発の加速に活用されます。

VLPT ジャパンは、2020 年に VLPT の 100%子会社(当時)として設立されました。現在、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)および厚生労働省の支援により、レプリコン(次世代 mRNA)技術(※2)を用いた COVID-19 等に対するワクチンを国内数機関と共同研究開発中です。今回の増資による資金は、福岡県久留米市で 2024~25 年の稼働開始を目指している治験用ワクチン製造拠点(久留米リサーチ・パーク)の整備等に活用されます。

当社は、2022 年4月から、社会課題解決に向けた挑戦や取り組みを資金面からサポートすることを目的として、インパクトエクイティ投資を実施しています。VLPT および VLPT ジャパンへの出資を通じて、国内・海外問わず、革新的ワクチンの普及により、多くの人の健康と福祉の改善が推進される、公衆衛生の課題解決を支援していきます。

(※1)VLP(Virus Like Particles:ウイルス様粒子)

感染性のある遺伝物質を含まないウイルス粒子で、ワクチンとして使用するとウイルスに由来する副反応を引き起こすことなく、強い免疫反応を誘発できます。

(※2)レプリコン(次世代 mRNA)技術

少量の接種で十分な抗体が作られる、次世代型ワクチンの基盤技術です。現行の mRNA ワクチンと比べて 10~100 分の 1 程度の接種量となることから、短期間で日本全人口分の製造が可能となることと、副反応が低減されることが期待されます。

以上